

# し 知ってる？ あか ひみつ 赤とんぼの秘密



「夕焼けこやけの あかとんぼ…」日本の代表的な童謡の「赤とんぼ」は詩人である三木露風さんが高校までを過ごした、兵庫県たつの市の風景を思いうかべながら作詞したといわれています。しかし赤とんぼという名前のトンボが本当はいるって知っていましたか？



▲三木露風さんと赤とんぼ



Q. 童謡に出てくる赤とんぼは、本当は何という名前のトンボなの？

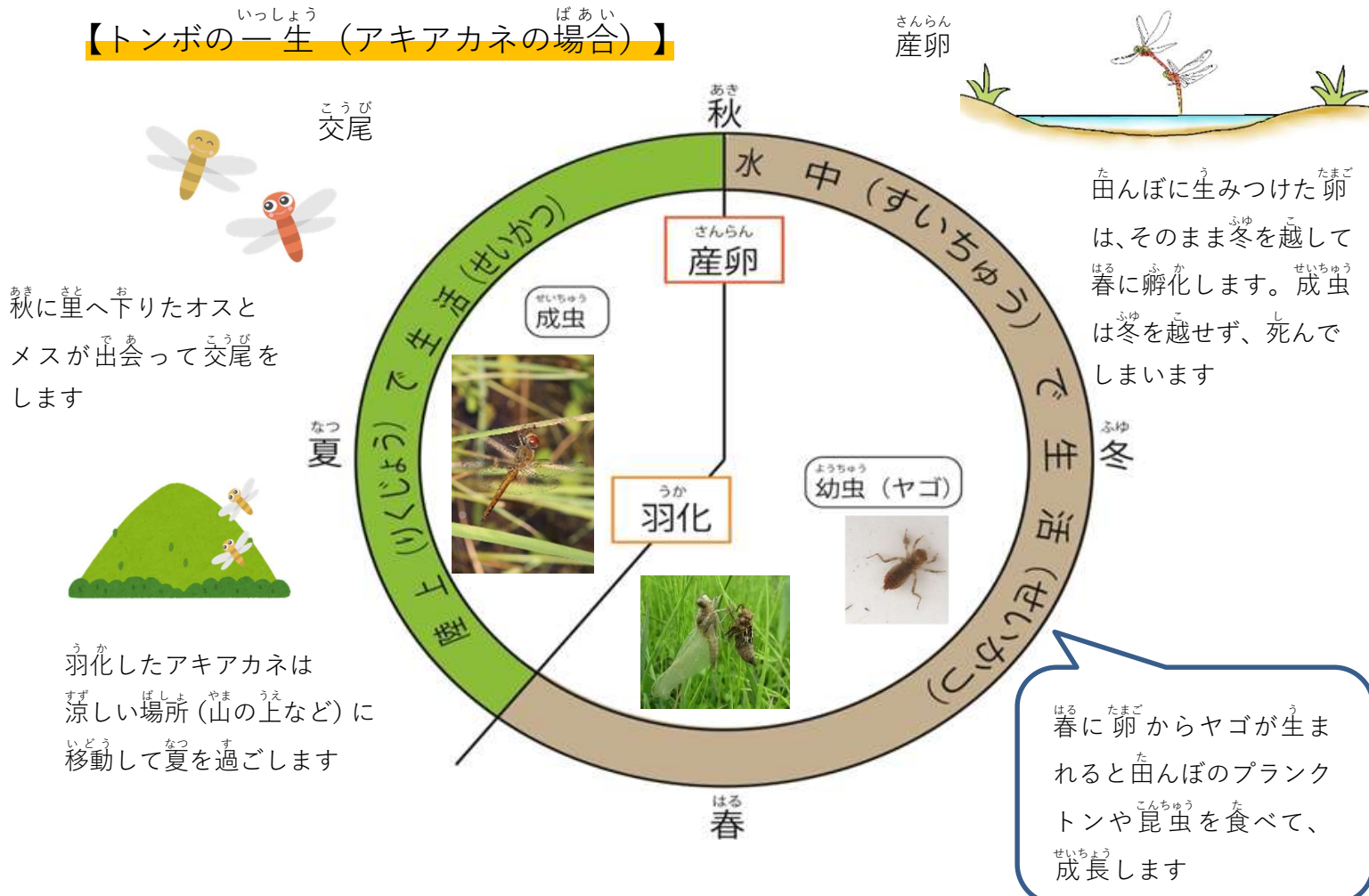


赤とんぼは 1種類のとんぼではなく、よく似たグループ(分類学的には「属」というグループ)につけられた名前のことです。そのグループの名前は正しくはアカネ属といって「ナツアカネ」「アキアカネ」等のトンボがこれにあたり、全国では 21種類、兵庫県では 15種類のアカネ属のトンボを見ることができます。



▲赤くなったアキアカネ

## 【トンボの一生 (アキアカネの場合)】





あか からだ いろ あか  
Q. 赤とんぼの体の色が赤いのはなぜ？



アキアカネの場合、体が真っ赤になるのは成熟したオスだけ。ヤゴから脱皮したばかりの若いオスや、メスは体の色が黄色のままです。このことから、今まで赤色に変わる理由は、交尾時にメスにアピールするためだと思われていました。しかし、最近の研究で体の中にあるオモクロームという色素が空気中の酸素と反応することで赤色に変化しているということがわかりました。赤色になることのメリットはまだ不明ですが、日向を飛び回るトンボの紫外線のストレスを減らすためではないかとも考えられています。



うみ こ だいいどう  
海を越えて・・・ウスバキトンボの大移動



アキアカネと同じく、夏から秋にかけてよく見かけるウスバキトンボというトンボを知っていますか？オレンジ色のトンボでよく赤とんぼ（アカネ属）に間違われますが、ちがう種類のトンボです。

実はウスバキトンボはカモ等の渡り鳥と同じく、東南アジアや

中国などの遠い海外から海を越えてやってくる、すごいトンボなのです。



▲ウスバキトンボ



▲海をわたるウスバキトンボ

ウスバキトンボの移動距離はなんと6000 km以上にもなるといわれており、その軽い体と、グライダーのような滑空飛行を繰り返すことで長距離移動を可能にしています。しかし、兵庫県ではウスバキトンボは冬の寒さに耐えられずに死滅してしまうため、なぜ海を越えて移動してくるのかについては、まだわかっていません。

### アクティブ・レンジャーを出前授業に呼んでみませんか？

この記事を書いた兵庫県南部・瀬戸内海側にある神戸自然保護官事務所の中村（なかむら）です。出前授業も行っています。

↓↓興味のある方は、お気軽に下記までご相談ください↓↓

環境省 神戸自然保護官事務所 TEL：078-331-1146 FAX：078-331-1148  
竹野自然保護官事務所 TEL：0796-47-0236 FAX：0796-47-0249

